

単元構想図

【単元のねらい】

すべての人々が安全に過ごすための取組について読み取る活動を通して、日本に住む外国人が非常時に困ったことについて考え、自分たちにできる支援を実践することができる。

単元を貫く課題：日本に住むすべての人が災害から身を守るために、私たちにできることは何だろう。

単元導入時の意識

日本は自然災害が多く、学校で避難訓練をするが、海外の災害に対する意識は日本と同じだろうか。（内容面）
「ここが非常口です」などの説明はできるが、標識の意味を説明するにはどんな文を作ればいだろうか。（表現面）

第1時 扉・Preview

- ①課題：世界の看板から、災害時の動きを予想しよう。
②活動：扉の絵を見て看板の意味を考えるとともに、外国で災害にあった場合に困ることは何かを考える。

③生徒の意識

外国の看板は日本のものと違い、ぱっと見て分からない。日本に住んでいる外国人も同じ気持ちなのだろうか。

第2時 Scene① 言語材料：間接疑問文

- ①課題：グラフをもとに、緑市の人々の災害に対する意識を読み取ろう。
②活動：間接疑問文をもとに、グラフの示す内容を読み取り、緑市に住む外国人が知っている事、必要としている情報をそれぞれ考察する。

③生徒の意識

本文とグラフによると、緑市の外国人は「火事の時にかける電話番号」をよく知っているが、「どれくらいの量の水や食料を保管すべきか」を知らない。この情報を知らせるべきだ。

第3時 Scene② 言語材料：動詞＋(人)＋疑問詞

- ①課題：災害についてどんな備えをしているのか、相手に聞くための表現を本文から見つけよう。
②活動：朝美が非常時に備えて準備したことを聞き出そうとするメグの発言を見つけ、その表現の特徴を考察する。

③生徒の意識

相手に何か尋ねる時は、疑問文を作るだけでなく、間接疑問文を使って”Tell me what you have done.”などの伝え方もできる。

第4時 Mini Activity

- ①課題：避難袋に入れるべきものをお互いに紹介しよう。
②活動：非常持ち出し袋に入れるべきものを説明する会話ドリルを通して、Tell me what you have prepared.などの間接疑問文を用いた表現を身に付ける。

③生徒の意識

Tell me 疑問詞＋you＋動詞の形を作ることで、仲間が災害に備えて準備したものの数、どこで買ったかを聞くことができる。

第5・6時 Read and Think ① 言語材料：現在分詞

- ①課題：災害が起こった時、日本に住む外国人が困ったことを読み取ろう。
②活動：外国人の体験談から彼らが日本で困ったことを読み取り、日本に住む外国人が困っていることを考察する。

③生徒の意識

本文の”We didn't know where to go.”などから、日本に住む外国人は「どこに避難するか分からない」「情報が日本語で分からない」という困り感を抱えていることが分かる。

第7・8時 Read and Think ② 言語材料：過去分詞

- ①課題：外国人の悩みに対して、日本ではどんな活動がされているのだろうか。
②活動：前回までにつかんだ外国人の困り感に対して、若葉市の取組を読み取り、自分の学校での取組と比較する。

③生徒の意識

若葉市では、外国人向けの避難訓練を実施したり、中学生が外国人向けの避難地図を作ったりしている。揖斐川町ではそのようなことは行われていないので、ALTなどの外国人はどうやって情報を集めているのだろうか。

第9時(本時) 単元名 Unit Activity-1

- ①課題：揖斐川町に住む外国人が一人でも避難できるように、彼らが知りたいことを説明する防災マニュアルを作ろう。
②活動：ALTの悩みをアンケート結果から読み取り、ALTのために避難標識や避難経路など、相手に必要な情報を説明する防災マニュアルを作る。

③生徒の意識

仲間の作文を見て、外国人に気を付けるべきことを伝えることができた。

第10時 パフォーマンステスト

- ①課題：揖斐川町に住む外国人が一人でも避難できるよう、防災マニュアルを使って身の守り方を説明しよう。
②活動：前時に作成した防災マニュアルをもとに、相手に伝えたい内容をより要点を絞って相手に説明する。

③生徒の意識

マニュアルの中でも大切なことを、新しく学んだ表現を生かして説明することができた。

単元出口の意識

海外の人の多くは地震の経験がなく、災害時に何をすべきか分からない場合がある。また日本語の災害情報が理解できない人も多い。外国人に向けた防災の取組をしている市町村同様、自分たちも海外の人々に状況を正しく説明できなければならない。状況を正しく説明するには、この単元で学んだ間接疑問文を使うのが便利だ。